

都市再生整備計画 モニタリングシート
小牧線沿線地区

令和5年3月

愛知県小牧市

様式3 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	小牧市		地区名	小牧線沿線地区		面積	820ha		
交付期間	令和2年度～令和6年度		事後評価実施予定時期	令和7年度	モニタリング実施時期	令和4年度	交付対象事業費	3,497.6	国費率	0.366		
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業	基幹事業	事業名 道路(市道久保一色佃7号線) 街路(小牧文津地区((都)文津循環1号線ほか2路線)) 公園(樋下公園、小牧西公園、松林東公園、宮前公園、天王塚公園、本田会館北公園、駅西公園) 河川((仮称)第3老人福祉センター(地下貯留施設)) 地域生活基盤施設(地域防災施設)(小牧西公園(耐震性貯水槽)、本田会館北公園(耐震性貯水槽)、松林東公園(耐震性貯水槽)) 高次都市施設(地域交流センター)((仮称)第3老人福祉センター(にぎわいゾーン)) 土地区画整理事業(小牧文津地区、小牧岩崎山前地区、小牧南地区、小牧原樋下地区)				事業進捗の状況(順調か、遅れているか) おおむね予定通りに進捗している。					
		提案事業	地域創造支援事業((仮称)第3老人福祉センター(にぎわいゾーン除く)) 事業効果分析調査 まちづくり活動推進事業(街区公園整備事業(ワークショップ)(宮前公園外5公園))				おおむね予定通りに進捗している。					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名 公園(岩崎山公園、町屋公園、うたず公園、池田公園) 河川(本田会館北公園(地下貯留施設)) 地域生活基盤施設(地域防災施設)(うたず公園(耐震性貯水槽))				削除/追加の理由 公園については、土地区画整理事業の進捗状況にあわせて、公園事業の実施時期を見直したため、削除している。 河川については、他の交付金事業へ移行するため削除している。 地域生活基盤施設については、公園事業と一体的に整備する必要があるため、公園事業の実施時期見直しに伴い削除している。		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 なし			
		提案事業	なし									
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(地域防災施設)(樋下公園(耐震性貯水槽)) 高質空間形成施設(緑化施設等)(小牧駅駅前広場)				地域生活基盤施設については、防災機能強化を図るため、追加している。 高質空間形成施設については、交通利便性の向上による多様なニーズに対応した施設を整備することで、小牧駅周辺の交通利便性向上による人口定着が見込まれるため、追加している。		なし			
		提案事業	地域創造支援事業(小牧南地区排水路)				集中豪雨などによる内水被害の軽減に寄与する排水路を整備することで、災害に強いまちづくりが見込まれるため、追加している。		なし			
	交付期間の変更	当初	令和2年度～令和6年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-					
	2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標1	計画区域内居住率	%	従前値	目標値		モニタリング	目標	総合所見	今後の対応方針	
					基準年度	目標年度						
		32.0	R1	32.1	R6	32.4	R4	あり	土地区画整理事業実施4地区のうち、小牧文津地区、小牧南地区、小牧岩崎山前地区の3地区が道路整備、建物移転ともに実施率8割から9割後半と進んでおり、事業が終盤に差し掛かっている。それに伴う道路や街路、公園等の公共施設整備と宅地の創出により良好な住環境が形成されたことを背景として、特に小牧南地区の人口定着が進んだ。その結果、小牧市全体の人口減少と比べ、計画区域内の人口は緩やかな減少にとどまり、計画区域内居住率は増加している。	土地区画整理事業実施4地区すべてを推進し、着実な効果発現を図る。		
なし						なし						
指標2		新築着工住宅件数(計画期間内の累計)	件	0	R1	335	R6	202	R4	あり	土地区画整理事業実施4地区のうち、小牧文津地区、小牧南地区、小牧岩崎山前地区の3地区が道路整備、建物移転ともに実施率8割から9割後半と進んでおり、事業が終盤に差し掛かっている。それに伴う道路や街路、公園等の公共施設整備と宅地の創出により良好な住環境が形成され、さらに耐震性貯水槽の整備等の実施による災害に強い住環境が形成されたことを背景として、新築着工住宅件数は順調に推移している。なお、今後も土地区画整理事業の推進により、新築着工住宅件数が増加する見込みである。	土地区画整理事業実施4地区すべてを推進し、着実な効果発現を図る。
				なし					なし			
指標3	地域住民が主体的に管理するコミュニティ拠点施設数(累計)	施設	0	R1	3	R6	1	R4	あり	地域コミュニティの維持・活性化を促進するため、土地区画整理事業による公園整備にあわせてその活用を図るワークショップを推進することにより、地域住民が管理するコミュニティ拠点の創出を図ったが、地域住民が主体的に管理するコミュニティ拠点施設としては小牧西公園1件にとどまっている。今後ともこういったワークショップを複数実施予定のため、地域住民が主体的に管理するコミュニティ拠点施設が増加する見込みである。	公園整備に合わせて、その活用を図るワークショップを開催している公園について、管理委託契約を確実に契約することで、着実な効果発現を図る。	
			なし					なし				

	指標		従前値		目標値		モニタリング		目標達成見込み	総合所見	今後の対応方針
		単位		基準年度		目標年度		計測年度			
3) その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1										
	その他の数値指標2										
	その他の数値指標3										
4) 定性的な効果発現状況											
5) 実施過程の評価			実施内容			実施状況			今後の対応方針等		
	モニタリング		令和4年度にモニタリングを実施し、モニタリングシートを作成した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた			モニタリングの結果に応じて都市再生整備計画の内容の見直しを実施するとともに、引き続き事業を推進する。		
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					
	官民連携による取組					都市再生整備計画に記載し、実施できた					
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					
	持続的なまちづくり体制の構築					都市再生整備計画に記載し、実施できた					
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					
						モニタリング時点では実施していない					
						都市再生整備計画に記載し、実施できた					
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					
モニタリング時点では実施していない											
6) モニタリングの所見	総合所見	順調 要改善	●			おおむね順調に進捗している。			今後の事業の改善点	土地区画整理事業の進捗状況にあわせて、事業の実施時期等を精査する必要がある。	